

NEWS RELEASE

2013年8月5日
コベルコクレーン株式会社

コベルコクレーン中期経営計画（2013～2015年）について

コベルコクレーングループは、2012年度決算において創立以来最大の赤字を計上いたしました。収益構造を早期に改善し、復活そして再生を図るべく昨年9月に3.5年間の計画を策定し、10月より取組んでおります。その中で、2013～2015年の期間についてより具体化した中期経営計画を、この度策定いたしました。

当社の主力商品であるクローラクレーンの市場環境は、国内では前年度から引き続き震災復興需要により2013年度に約400台程度と需要のピークを迎えた後は調整局面に入ると予測しております。

海外では、シェールガス等の開発が堅調な北米や、インフラ開発等が旺盛な東南アジアが好調な一方、欧州・中東では引き続き低迷が続くと見込んでいます。また、中国・インドでは前年度の大幅な需要の落ち込みからは脱するものの、回復はゆるやかになる見込みです。このように各エリアで濃淡はありますが、世界総需要は2013年の約3000台(*1)から2015年度に向けて微増するものと予測しております。

そのような環境下において当社は、コストダウンの実行、販売量の最大化、生産開発面での改革を中心とした諸施策を実行し、2013年度中に連結経常利益黒字化を果たすことを計画の前半部分に据えました。その後、開発戦略等将来を見据えた重要課題について2013年度中に意思決定し、2014年度より一気に実行に移します。

《基本方針》

- ・ 2013年度での連結経常利益黒字化
- ・ 日本、インド、中国3生産拠点でのグローバルものづくり体制の強化による安定収益の確保
- ・ クローラクレーントップメーカーとしての商品ラインアップの充実

《重点取組課題》

- ・ 国内外での販売量最大化
- ・ グローバルベンチマークコストでの調達(*2)と国際競争力の更なる向上
- ・ 受注組立型生産による在庫削減と徹底した生産変革
- ・ インド・中国事業の収益改善に向けた取組
- ・ 世界3拠点共通のグローバル品質の確立
- ・ 将来に向けた商品ラインアップ計画の策定

尚、2014 年度以降については、昨年度後半から急激に変化した為替を含めた足許の環境変化や 2013 年度での重要課題の意思決定を踏まえ、2013 年度中にローリングを行い、内容を充実させてまいります。

(*1) 当社推定値

(*2) 当社の品質基準を満たしていれば、生産地に拘らず世界で最も安い資材を調達すること。

中期経営計画 経営目標イメージ（連結ベース）

	2012 年度 実績	2013 年度 当初計画	2013 年度 見通	2015 年度 イメージ
売上高	455億円	550億円	610億円	550-650億円
経常利益	▲22億円	0億円	20億円	20-30億円

以上

● 会社概要

社名	コベルコクレーン株式会社
英社名	KOBELCO CRANES CO.,LTD.
創立	2004 年 4 月 1 日
本社所在地	東京本社：東京都品川区東五反田 2 丁目 17 番 1 号 03-5789-2130（代表）
資本金	63.8 億円 (株)神戸製鋼所 100%
代表取締役	塚本 晃彦（つかもと あきひこ）
事業内容	建設機械の開発、生産、販売並びにサービス
ホームページ	http://www.kobelco-cranes.com